

**世界のリーダーたる人財…!**

●浦高同窓会・地域職域同窓会責任者会議！

昨4日は、午後2時から浦高同窓会の「第4回 地域職域同窓会責任者会議」でした。春日部地区浦高会からも、三輪昭彦会長と一緒に事務局長の私が参加させていただきました。

会場の麗和会館は1階が食堂、2階が資料室と会議室となっています。少々早く着いたので、資料室をのぞくと浦和中学時代からの年表や往時の写真、各大会で優勝カップなどが飾られており、先輩達も感慨深げに見入っておられました【写真①】。



◆浦和高等学校の歴史：浦和高校は明治28(1895)年に、浦和町の鹿島台（現在知事公舎・浦和警察署のある場所）に、埼玉県第一尋常中学校として誕生し、旧制浦和中学となり、戦後、新制埼玉県立浦和高等学校となりました。開学以来117年（2012年現在）、3万1千人を超える卒業生を有する、埼玉県で最も歴史ある県下随一の進学校として現在に至っています。【浦和高校ホームページなどより】

◆校訓：尚文昌武（しょうぶんしょうぶ）

文を尊び、武を昌んにするという意味。二代目校長による造語である。一説によれば当時の風潮であった「尚武」という語を二つに割り、なかに「文昌（ぶんさかんなり）」という語を織り込ませたと言われている。つまり「尚・文昌・武」という構造である。

【ウィキペディア・フリー百科事典】

＊

●世界で活躍する人材を排出する！

午後2時、会議が始まりました。今回は川野幸夫同窓会会長を始め、常任理事の皆さん、各地域職域の責任者の皆さんで合計58名が参加されました。地域職域同窓会も、昨年新たに昭和大学医学部浦高会が設立されて24の同窓会組織となり、九州浦中浦高会を除く23の地域職域同窓会が集まりました。

小室正人副会長の開会挨拶に続いて、川野幸夫会長からご挨拶がありました。【写真②：川野会長】

「皆さん、お寒い中をご出席いただきありがとうございます。この地域職域同窓会責任者会議も4回

目を迎えました。第1回目は勢いというのでしょうか、やることに意義があるということで開催させていただきましたが、回を重ねるに従いまして、それぞれの同窓会の情報が共有され、評価を受けていると思います。小室副会長のご挨拶にもありましたように、各地域・各職域での活動が活発になれば、それが同窓会全体の活動ということにも繋がります。本日も、各地域職域からの活動報告をいただく訳ですが、活発な活動に感謝申し上げます。

さて、私たち同窓会は浦高あつての同窓会であり、学校では、ここにいらっしやる関根校長先生



が『君達は三兔を追い！』とハッパをかけておりますが、勉学、部活動、はたまた伝統行事においてもその成果が着実に上がっている

と感じております。

『勇将の下に弱卒なし』という言葉がありますが、関根校長の考え方が他の先生方にも浸透し、それぞれの先生方がそれぞれの役割を果たして下さっており、センター試験の好成績などにも表れていると思います。私たち同窓会も、学校と在校生達をさまざまな面から支援してまいりたいと考えております。

最後に、各地域職域でのがんばっておられる同窓会活動がさらに活発になるよう、本日の会が有意義であることをお祈りし挨拶とさせていただきます。」

＊

続いて関根郁夫校長（28代）からのご挨拶。

「皆様、こんにちは。浦高の現状についてお話をさせていただきます。センター試験が終了し、公立高校では3番目に入り、900点満点の中で800点以上が41人と健闘しております。また、イギリスの姉妹校ホイットギフト高校に留学していた3年生が、公立高校で初めてケンブリッジ・カレッジに合格しました。さらに、今年はアメリカのミシガン大学とコロンビア大学のサマーセミナーにも2年生を出す予定でいます。このように、本学では海外に打って出られる人材を育成していきたいと考えています。ぜひ、同窓会の皆様にもグローバルに活躍できる人材育成に対してご支援をいただきたいと思っております。

危機感として思っていることは、私立や他県での中高一貫教育です。浦高に優秀な人材が集まらないということです。これまで苦手であった学校の宣伝にも、ぜひ力を入れていきたいと思っております。手始めに『浦高カレンダー』を作成する予定です。」

＊

いよいよ各地域職域からの報告です。一言ずつ…。

(1)浦和麗和会(星野和央会長)：地域同窓会のあり方を考えています。地域同窓会は、地域の中で会



員自らのとってどういう役割・メリットがあるのかを明確にするとともに、お互いに働きかけられる

活動をしていくべきと考えます。

(2)古河麗和会(長島光治会長)：古河麗和会は地元出身者による濃密な関係を維持し、強歩大会のゴールでの全面的なサポートをしています。

(3)昭和大学医学部浦高会(渋谷勲事務局)：創立80年目の医大です。会員38名でスタートし、会員間の親睦を深めています。

(4)春日部地区浦高会(三輪昭彦会長)：私たち春日部地区の特徴は、地域で杜づくりを始めたことと幹事に若手が多いことです。

(5)湘南浦中浦高会(柳川義晴事務局)：毎月の定例会を会長の早川さん宅にある「黒崎俊雄(17期)美術館」で行い、ゆるやかな連携をとっています。

(6)関西浦高会(佐藤進会長)：近畿2府4県の浦高卒業生が対象ですので、卒業生が近畿圏でお困りの時にはできるだけの支援をしたいと思えます。

(7)久喜麗和会(奥貫副会長)：こうしたご縁、絆を大切にしたい。競歩大会の応援などを行っています。課題は合併により1市3町が一緒になったのですが、3町に同窓会組織が出来ていなかったことと若い人たちの勧誘です。

(8)西部浦高会(大塚陽一会長)：荒川の西岸を対象としていますので面積では一番大きな同窓会と考えています。年1回の総会と百年の森への協力をしています。

(9)上尾麗和会(野川副会長)：矢和田会長が亡くなり、新しい体勢に向かおうとしています。

(10)岩槻蓮田浦高会(三浦敏行会長)：今年10月に白岡市が誕生しますが、白岡の同窓生にも声を掛けて勧誘したいと考えています。

(11)志木麗和会(村田昌市事務局長)：長沼市長がいるので市政談義などを行っています。

(12)秩父浦中浦高会(志村嘉一郎事務局)：昭和30年に設立されて歴史的に一番古い地域同窓会です。2年に1回の総会は盛大に行っています。

(13)川口麗和会(飯塚章幹事)：同窓会は社会にもものを言える会であってもよいと思う。また他の地域同窓会も呼べるような企画をしていきたい。

(14)霞ヶ関麗和会(七尾英弘事務局)：毎年4月に総会を開き、霞ヶ関関係者の名簿を作っています。

(15)県庁麗和会(星野弘志会長)：県が進める事業の中では浦高の力を借りることも多くあります。グローバルな人材を育てるための基金もあります。

(16)浦和高等学校同窓会与野支部(池上悦三会長)：総会と月例懇親会を中心に活動しています。支部という名称の変更も考えています。

(17)蕨麗和会(奥田昌利会長)：会員の高齢化が進んでおり、新規会員も63歳を過ぎたところから



でしょうか。市役所職員の卒業生を勧誘したい。

(18)大成建設

浦高会(清水宣治会長)：職域同窓会としては少ない会ですが、社員名簿を充実して、人事異動の少ない11月に総会を行っています。

(19)大宮浦高会(新藤享弘会長)：同窓会活動で地域のため、会員のために還元しようと政治あり、経済あり、何でもありの会です。昨年は三上尽君「三遊亭円丈」さんの落語を行いました。

(20)東京浦高会(石川了会長)：〔参加者の中で東京浦高会の会員を問うと15名くらいの挙手が…。〕このように東京に関係のある人は誰でも参加できる会です。特徴は見聞旅行で、昨年はトルコに行きました。

(21)戸田麗和会(残念ながら欠席)

(22)和光麗和会(増田博事務局)：総会・懇親会などを行っています。顧問に鈴木・元浦高校長に参加してもらっており、教育の話題が多い。

(23)埼玉県立浦和高等学校同窓会北本支部(金澤正俊事務局)：会員の石津市長も3期目当選し、北本のピーアールに務めています。圏央道の桶川・北本インター、グリコ北本ファクトリー誘致など。

(24)九州浦中浦高会(欠席)：九州全域を対象とした同窓会であり、年1回の総会を開催しています。

＊

●グローバル社会で活躍できる人財を作る！

145分の報告が終わり、川野会長から「120周年に向けて…」の考え方が述べられました。

「120周年事業の候補として、個人的には浦高在校生を対象にグローバルな社会でリーダーとして活躍できる人財育成をしていけないかと考えています。私のところでは川野小児医療奨学金財団を運営していますが、そのような真に支援が必要な在校生を対象とした奨学金制度や、卒業生による人材データベースの構築などを考えていきたいと思えます。」